

令和2年度 技術科 3年 年間指導計画・評価計画

<1> 教科の目標

生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技術の習得を通して、生活と技術とのかかわりについて理解を深め、進んで生活を工夫し創造する能力と実践的な態度を育てる。

<2> 各学年・各分野の目標

ものづくりなどの実践的・体験的な学習活動を通して、材料と加工、エネルギー変換、生物育成及び情報に関する基礎的・基本的な知識及び技術を習得するとともに、技術と社会や環境とのかかわりについて理解を深め、技術を適切に評価し活用する能力と態度を育てる。

<3> 評価の観点及びその趣旨

生活や技術への関心・意欲・態度	生活や技術について関心をもち、生活を充実向上するために進んで実践しようとする。
生活を工夫し創造する能力	生活について見直し、課題を見付け、その解決を目指して自分なりに工夫し創造している。
生活の技能	生活に必要な基礎的・基本的な技術を身に付けている。
生活や技術についての知識・理解	生活や技術に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、生活と技術のかかわりについて理解している。

<4> 観点別評価の評価基準と評定

評価基準	A	十分に満足できる状況である。 (80%以上)
	B	おおむね満足できる状況である。 (50%以上)
	C	努力を要する状況である。 (50%未満)

評定	5	十分に満足できる状況であるもののうちで、特に程度の高いもの。 (90%以上)
	4	十分満足できる状況である。 (80%以上)
	3	おおむね満足できる状況である。 (50%以上)
	2	努力を要する状況である。 (50%未満)
	1	一層努力を要する状況である。 (20%未満)

<5> 指導上の配慮事項

- ①実践的、体験的な学習や問題解決的な学習活動の設定
- ②言語活動の充実
- ③ICT機器の活用
- ④個に応じた指導

技術科 3学年 年間指導計画・評価計画

月	単元名 指導時数	ねらい・学習課題 学習活動	評価の観点				評価規準 評価の方法
			関	工	技	知	
6	プログラムによる計測・制御 7 (8 h)	・身の回りにある電気製品について、自動的に仕事をする例を調べる。 ・計測・制御システムの基本的な構成を調べる。 ・コンピュータを利用した計測・制御の流れを調べる。 ・プログラムとは何か調べる。 ・プログラムを作るための基本的な情報処理の手順を考える。	●	●	●	●	(関) 新しい発想を生み出し活用しようとしている。 (工) デジタル作品の使用目的や使用条件を明確にし、表現手段の素材の特徴と利用方法などを比較検討したうえで、作品に適した表現手段の種類やデジタル化の方法などを決定している (技) 設計に基づき、適切なツウェアを用いて多様な表現手段を複合し、表現や発信ができる。 (知) 計測・制御システムにおける構成や、その中のプログラミング
9		・計測・制御をする目的や条件に応じて情報処理の手順を考える。 ・簡単な計測・制御をするためのプログラムを作成する。	●	●	●	●	
10			●	●	●	●	
11	表計算処理ソフトウェアの活用 12 (8 h)	・表計算処理ソフトウェアの機能や用途について調べてまとめる。 ・表計算処理ソフトを活用していろいろなデータを取り扱うことができる。	●	●	●	●	(関) 表計算処理ソフトウェアの機能を理解し、取り組もうとしている。 いろいろな関数を理解しようとしている。 (創) 目的に応じた関数や見やすいグラフを学んだことを通じて工夫している。 (技) 正しいデータを入力し、表を完成させる事ができるか。目的に応じた適切なグラフを選択し、グラフを完成させる事ができるか。 (知) いろいろなデータをソフトウェアの特性を利用し、そのことを理解し説明できる。
1	情報技術の評価・活用 (2 h)	・情報技術が社会や環境に果たしている役割について調べる。 ・これからの生活や社会を豊かにするための情報技術の活用方法を考える。	●	●	●	●	ラムによる情報の処理について指摘できる。 (関) 利用者への影響などを考えプログラムを作成しようとしている。
2							

							(工) 計測・制御の目的や条件を明確にし、適した情報処理の手順を決定している。 (技) 設計に基づき、簡単なプログラムを作成できる。 (知) 情報処理の手順について指摘できる。 (関) 情報に関する技術の課題を見つけ、解決策を示そうとしている。 (知) 情報に関する技術が社会や環境に果たしている役割と影響について説明できる。
--	--	--	--	--	--	--	---